

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	准教授
氏名	杜崎 群傑		
NAME	Gunketsu MORISAKI		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

中国共産党による人民代表大会制度の淵源の研究

2. 研究期間

2020・2021・2022年度 ※2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究は、1950年代の中国における「立法 - 司法 - 行政」のうち、中国共産党によって正統性調達と権威主義体制構築に利用されてきた立法権＝人民代表大会に着目し、一次史料と政治学理論の双方を用い、さらに国際的要因も含めて分析することにより、従来ほとんど明らかにされなかった、当時の中国における三権分立と党の関係、これによって導き出される政治体制と、共産党による「党国体制」＝独裁化の実態、およびそのための具体的手段を、人民代表大会の開催過程から明らかにするものであった。

以上の目的に基づき、2020年度 - 2022年度の期間において資料の調査と収集・整理を行った。この調査により、1949年以降の中国の政治史に関する資料が順調に集まった。のみならず、1949年以降の人民代表会議制度の運用実態に迫った研究成果の発表を行った。これらの成果は、「中華人民共和国の政治制度——創立期、「人民代表会議」制度を中心に」（『現代中国研究』第46号 2021年3月）、「1949年以降人民代表会議制度の運用実態に関する考察」（『社会科学研究』第73巻第1号、2022年3月）として刊行された。また2022年12月には京都大学人文科学研究所共同研究班（若手A班）ワークショップにて「毛沢東の人民代表会議・人民代表大会観」と題した研究成果を発表した。今後はこのワークショップで受けた意見をもとに当該研究をブラッシュアップし、しかるべき学術雑誌に投稿する予定である。

（英文）

This study focuses on the People's Congress, which was used by the CCP to procure legitimacy and build an authoritarian regime. By analyzing both primary historical sources and political theories, as well as international factors, this study aims to clarify the relationship between the Party and the separation of powers in China at that time, the political system derived from this relationship, the actual situation of the "party-state system" = dictatorship by the Communist Party, and the concrete means to achieve this.

Based on the above objectives, I conducted a survey, collection, and organization of materials. Through this research, I have successfully gathered materials on China's political history since 1949. In addition, I presented the results of our research into the actual operation of the People's Congress system after 1949. I plan to brush up my research and submit it to an appropriate academic journal.